

婦人関係資料シリーズ
国際資料 NO. 20

何ゆえの紅い灯か

— 米国における組織的売春への反証 —

52

52

パンフレット NO. 22

労働省婦人少年局

は し が き

米国では今世紀初頭から、組織的売春に対する反対が強く唱えられ、1910年以來、婦女の売買、娼家経営等を禁止する法律が多くの州で制定されて、数百の紅燈地区が閉鎖されました。又 1919年以來売春行為そのものを禁止する——売春の当事者双方を処罰する——法律も多くの州で施行されています。

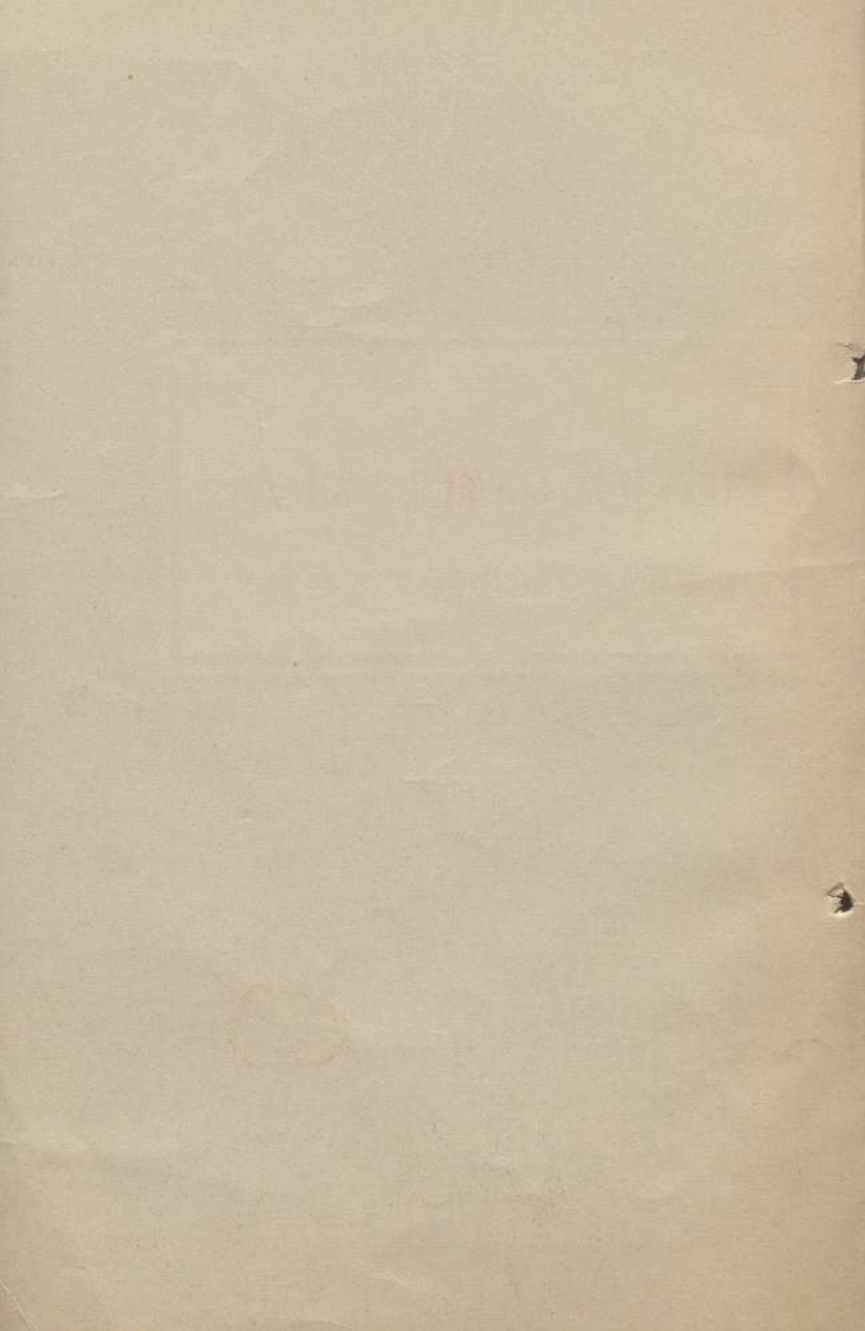
しかし、今次大戦によつて売春行為は増加し、性病の蔓延が憂慮されるようになったため、政府は民間団体と協力して、公衆衛生の促進、法律による取締り、売春防止のための社会的対策等をすすめています。

ここに示すのは、1914年以來この問題に関して活潑な教育活動をして來たアメリカ社会衛生協会 (American Social Hygiene Association) が米国に残つている紅燈街——組織的売春街——の撲滅のために 1941 年に出した教育資料です。

いわゆる 赤線区域等組織的売春の功罪が問題となつている今日、参考になる点が多いと思われるので、ここに抄訳して発行します。

1952 年 10 月

労働省婦人少年局



何ゆえの紅い灯か？

——紅燈街及び營利的売春に対する反証——

“Why Let It Burn?” 1941,

American Social Hygiene Association

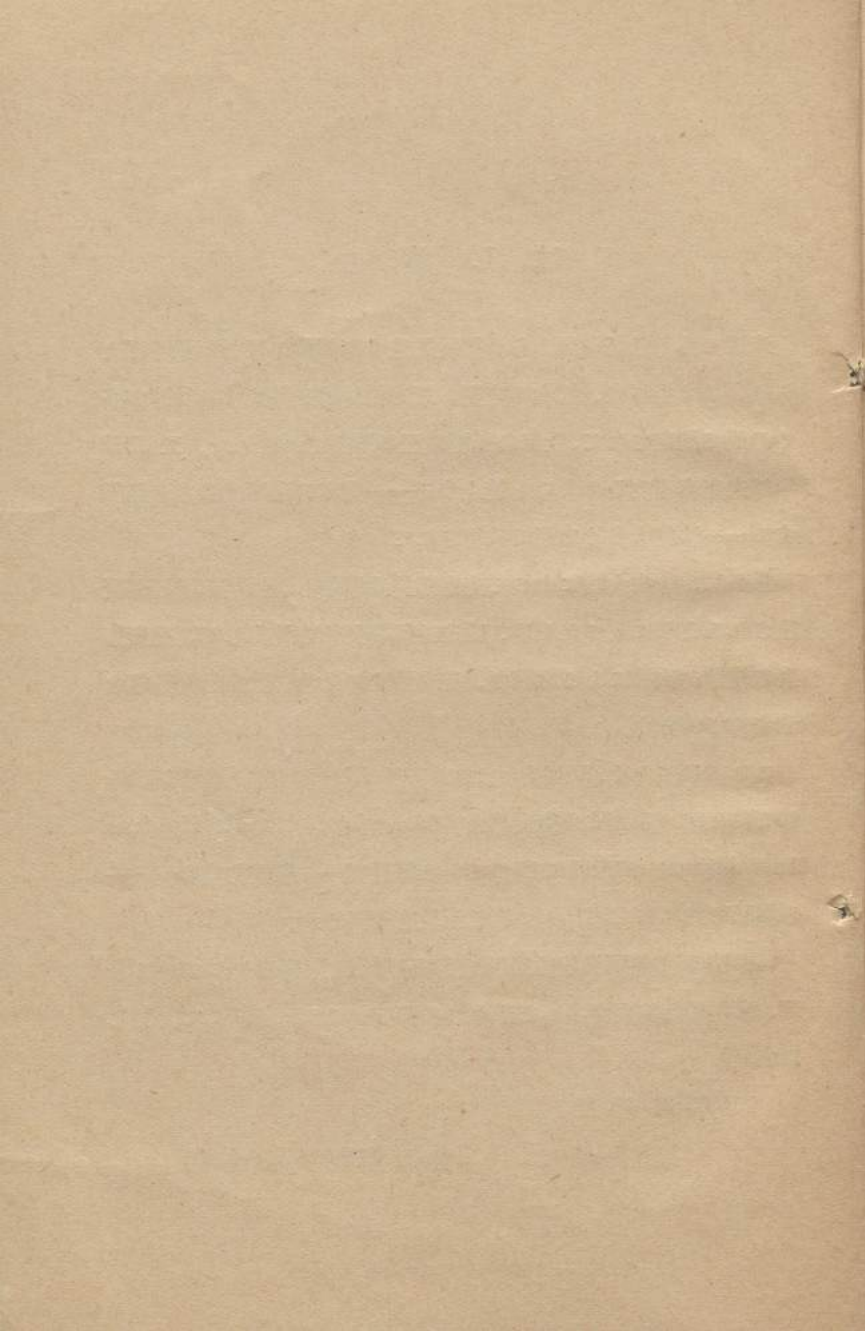
1. 隔離区域は隔離されていない

一地域社会の売春婦の全部又はその大部分を、或一定の区域内にとちこめることは、全く不可能なことです。模範的な隔離区域を持つていると信じていた多数の都市でも、売春婦の 80% は隔離区域外で売春を行つていました。

今日では、あらゆる場合、隔離区域の売春婦 1 人に対して、少くも 5 人のものが区域外で同時に売春を行つているということが認められています。

2. 隔離区域は売春婦を増加させる

隔離区域に娼家を公認、或いは黙認するという集娼制度は、売春婦の数をへらすどころではなく、売春婦に身を落す少女をますます多くすることに役立ちます。そういう集娼区域は、売春婦の仲介を業とする人のために、あくことない市場を呈供し、売春婦



す。更に業者は、すべて性病は私娼や素人からうつるものだということをいつています。

しかし現実には、古くサン・フランシスコ、パーバリー・コーストの場合をとりあげてみると、この区域内の売春婦の 97% が性病にかかっていることがわかりました。極く最近、南部の 1 都市では、その 90% が性病であることがわかつたので、市の集娼区域を廃止しました。その他の数百の調査の結果も同様な事実を示しました。その中には 3 軒の娼家に 20 人の売春婦という小さな町も含まれますが、この 20 人の売春婦はすべて、病気にかかつていないという医師の証明をもつていながら、厳密な検査と、実験の結果では、18 人のものが性病におかされていきました。

「街の女」、その他の私娼、或いは乱交の「慈善むすめ」という人たちも、同様に性病におかされています。男でも女でも、多勢の異性に接する場合は誰でも遅かれ早かれ性病にかかるものです（病気の感染を知らないものもいまいしょうが）。しかしそのうち最も害悪を流すのは誰でしょうか。売春婦はすべて早晚性病にかかると思われる以上、その害毒は、彼女たちの接する男子の数、病気が彼女たち自身や社会におよぼす破壊によつてはかることができます。乱交の「素人」むすめの場合は、週に 2 人又は 3 人以上と性交をむすぶことはまれです。しかし一方、集娼区域内の売春婦は週に 25 人、又はそれ以上と性交をむすぶことになら

のかすりをとつて生活している者にとつて理想的な商売の地盤となつています。国際連盟による世界各国における人身売買に関する調査は、以上の様な結説に到達しました。

その上、簡単に売春婦に接することができるという場合、男子は売春婦の所にしばしば通う様になり、また一方、紅燈街は勿論あらゆる手段を用いて男の心をそそり、売春婦の需要を増すようにしむけてゆきます。こうして、需要が大きくなれば供給、即ち売春婦の数も増えてゆきます。

売春婦に接しようと番をまつことは、やりきれないことです。そうした場合、この様な区域のあることによつて人工的に性慾を昂進されている男子は私娼を探し、時には素人の娘と臨時的な交りをもつようになり、そういう娘は次第に売春婦に身を落してゆきます。

この様に、紅燈街、公認の娼家、その他のあらゆる組織的売春は、そういうものがなければ決してこの道を歩まなくてもよかつた様な少女を売春婦におちいらせ、又青年たちを娼家の客にしたてているのです。

3. 集娼区域は性病培養所

売春業者は、集娼地区内の取締りをうけている売春婦は性病を拡げる様なことはないといつています。つまり、彼女達は自分の商売をよく知つていて、資本に^{もとで}充分注意を払つているといふので

病気にかかるわけです。なぜなら、健康証明書を信じるために、予防に何の注意も払わず、又初期の徴候に気をつけもせず、病勢が進んでから医師に相談するからです。

いかなる検診の制度によつても性病の蔓延から売春婦を守り得た都市はありません。機械的、化学的予防方法は、強制することができないために男にも女にも実用されず、また売春婦が進んで使用することは一層困難であり、商業政策に反し、病気にかかつていないという主張に矛盾するものです。一方男にとつても性交の時に、又はその直後それを使用することは、その必要を知っており、又しらふであつたとしても容易なことではないのです。

5. 売春は廃止することができる

売春業者は「^{ビジネス}売春—商売—は人間性に基いたもので、これを止めさせることはできない。」という云い古された比喩をよく使います。

事実はそれが^{ビジネス}商売であり、且つくらい商売であるという理由で、一般に考えられているより遙かにたやすく廃止させることができるのです。売春営業は多かれ少かれ公けの黙認、或いは保護の下に始めて存在し得るのです。もし市当局がこの営業の廃止に熱心であるとみるや、業者はあえてこれと戦おうとはしません。戦いに何の利益もなく、娼婦や業者は利益のためにのみ商売をしているのですから。

され、助成されるのです。又しばしば1日に25人にも接することがあります。

以上の事實は、男女を性病から守る方法として商業化した売春は妥当でないことを示しています。

4. 検診制度は誤つた安全感を与える

立派で且有能な医師なら、検診の結果売春婦が病気にかかつていないことを証明するものは1人としていないことでしょう。診察をうけるものが医師には何事もかくさずに本当のことをいつて検診に協力するとしても、不完全な診察や、たまにする血液検査（梅毒のため）、汚染検査（淋病のため）などによつてみつけることのできるのは、最も病状の明瞭なものだけです。ですから、検診によつて性病がみつからないとしても、被検診者は安全だということにはならないのです。しかし、売春婦のかすりをとつてゐる娼家の業主たちは、病気にかかつてゐることが、はつきり認められない限りは病気ではないということをやつきになつて主張します。がもし、たとえ前の検診の時は感染していなかつたとしても、それ以後感染しているかも知れないし、さらに、万一彼女が感染していなくても、1人の客から次の客への機械的病菌運搬者となるかも知れないのです。健康証明書は決して病気にかかつていない娼婦をえらぶ信頼すべき基礎とはならないのです。

そこで、娼家をおとづれる無智な命しらすの男たちはよけいに

は、警察その他の機関によつて、警戒もされず、又保護されることもありません。特殊地域が勢力を得ている場合には、人々はそういう事実を知ることが少なく、一般に町の売春婦はすべて区域内にいて思いこみやすいのです。又区域内でおおつびらに売春を行つてゐる女の数が多いため、この臆測はますます重みを加えます。

特殊地域が閉鎖された時はじめて一般の人々は周囲をみまわし、事実を知りはじめます。その時はじめて市からすべての売春行為が追放されます。厳正な法の執行によつて、この営業は拡散する代りに、廃止されます。何故なら他の営業と同様に売春業も利益を目的としているのですから。

売春行為は、警察や世間が認めるか、眼をつぶつてゐるかしない限りは、大都市の住宅地帯や、小さな田舎町では存在し得ません。つまりこういうことは社会感情の反映に他ならないのです。

7. 強姦に対する意見と実際

業者はよく、特殊区域をおくことは、良家の子女を困惑や、侮蔑や、強姦から防ぐ方法であるといひます。しかし紅燈街を撲滅した市の実例をよくみると、殆んどすべての場合、強姦の数は廃止以前より減少しています。どの場合をみても、売春に対する圧迫の結果が、*「犯罪の巷」*を作り出すようなことはなかつたのです。

売春業から利益をとつてしまつたらもう営業として成立しません。残るものは第三者の搾取のない男女間の性の交りばかりなのです。売春業が市に存在するというのは、一般世論がこれを認めているからです。

社会の経済的損失、並びに肉体的道徳的頹廢に責任のあるのはこれらの集団売春であることを忘れてはならないのです。

6. 集娼地区の廃止は娼婦を「拡散」させるという説の誤

リ

売春業者の宣伝によると、公認娼家の閉鎖は売春婦を散らばらせることによつて一大恐慌をひきおこすといつています。

これは事実を知るものにとつて甚だしい誤謬であるといわねばなりません。特定区域を黙認、又は公認することは、それによつて社会に甚だ有害な破壊的影響力を与えるのみでなく、又市のいたる所に内緒で売春行為を行つている利口な女達を増すことになります。隔離区域を閉鎖することによつて、仲介人や搾取されて暮している娼家の佳人達は町から出てゆくことになり、それに伴つて秘密売春の最も悪質なものをも追放することができるのです。

事実、腕のいい売春婦はつねにホテルとかアパート、ダンス・ホールとかいつた、高い金を喜んで払う客がたやすく見つかるような場所で、ひそかに売春を行つて来ており、そういつた場所で

ヨーロッパの多くの国の当局筋もこれを認めました。即ち、10年〜30年以前からチェッコ、オランダ、スカンディナヴィア諸国、イギリス、スイス等のヨーロッパ諸国は、売春の認可検診の制度を全くやめてしまい、ドイツ、オーストリア、ポーランド、ダンツィヒ、エストニア、フィンランド、ラトヴィア、インド、ハンガリー、では、第二次世界大戦前、事実上、これを廃止しました。売春認可、及び検診制度を一度ももつたことのない国、あるいはそういう制度の一部又は全部を正式に廃止した国は、アメリカ合衆国、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ、キューバ、ウルガイです。

これらのすべての国々において、そういう対策によつてとりしまり得るのは一部の売春婦だけであること、また検診に対する誤信は性病を防ぐより、拡げることになることが判明したのです。

しかしこのように売春を制度化しようとしていろいろな国が犯した誤りを示すものとしてアブラハム・フレックスナーの1914年刊「ヨーロッパにおける売春」をあげます。これはヨーロッパの売春についていろいろな角度から検討したもので、その見解の正しいことが国際連盟の正式な研究によつて確証されました。アメリカがもしヨーロッパの売春対策を踏襲したなら、より良い結果を得たであろうと考える人は、単なる噂で意見をのべる前にこの著作をよむべきなのです。

紅燈区域は犯罪を少なくすることはありません。それどころか、性的犯罪のみならずゆすり、たかり、その他の犯罪や搾取を培養するものです。

8. 乱交の問題

紅燈街の閉鎖及び營利的売春への圧迫の結果は、社会により多くの乱交をみるようになるということを業者はいいます。しかし乱交増加とは何を意味するのでしょうか。多分売春を業としない一般女子と、売春を求める男との性的関係の増加をいうのでしよう。しかしそういう関係が増加するという明らかな証拠はどこにもありません。今迄の事例で、この説を根拠づけたものは一つもなく、かえつて、保健的見地よりみれば、病気の危険は少いとさえ云えるのです。

9. 諸外国における売春対策

諸外国、殊にフランスにおける売春問題の実状は、屢々事情によく通じていないものや、偏見をもつたものによつて、この問題が如何に取扱はれるべきかという事例として引用されます。ヨーロッパや中南米諸国においては、売春は注意深く隔離され、娼家は認可され、衛生的に保たれている——すなわちそういう制度は立派な成果をあげているとこれらの人々は考えています。

これは大きな誤りです。諸国における認可検診制度は大きな失敗であることが、国際連盟の世界的調査によつて明らかにされ、ヨ

組織的売春によつて生ずる惡の防止のために、公衆衛生活動及び法の強力な実施の政策を確立して、努力しています。

組織的売春は、性病の罹患による時間の損失、治療のための費用、むだに使われる金銭等、数百万ドルの国家的損失を意味します。

更に、数百万ドルを以てしても償えないものは、このいまわしい商売の犠牲となる人々の健康、幸福及び自尊心の損失です。

「売春は第五列とみなされる」と、米国の陸軍将官が最近云っています。

あらゆる点から

組織的売春と紅い灯は

排撃すべき証拠が

あげられています。

なにゆえに点す必要が

ありましょう。

10. 組織的売春を擁護するもの

以上のべたように、隔離区域、公認売春宿及びその他組織的売春は、性病を拡げ、犯罪を生むものです。それにも拘らずそうした組織的売春業の存続を望むものは、どういう人たちでしょうか？まず自分で自分のことを処理できないような売春婦たちがこれのぞみます。売春婦のかすりをとり、それでもうけている淫売屋の主人やマダム、これらの人々によつて肥えふとる或種の政治家が強力にこれを支持します。法外な値段で土地や家屋を貸す無法な地主、家主たちもひそかに支持します。違法としりながら買収されてみのがすような不正な警察官たち、検診の証明書をうりものにし、売春婦やその顧客によつて繁昌している医者もこの制度を支持します。結局組織的売春はそれにより利益を得ている者によつて擁護されるものです。しかもこの人々の主張は時には善意の人々を混乱させ、支持をうけることもあります。

合衆国は売春に対し、指定区域、或は柵がこいの設置というような方法から、厳重な禁止法の執行に至るまでのあらゆる手段を講じて来ました。その結果、今日では適正なる法律とその執行こそ組織的売春及びそれに附随する害悪と戦い得る唯一の方法であると認められます。戦時中に、パーシング將軍は「この年来の悪と戦う唯一の道はその撤廃である」といつています。

以来、合衆国陸海軍及び公衆保健事務部は、性病取締り及び組

検診制度と病気にかかっている売春婦を除外することで性病を減少さす。	無知なものをいかさまの、あるいは無益な健康証明書にたよる様にさせて性病をふやす。
売春を一ヶ所に集めることにより取締りを容易にし、売春行為を減少させる。	常に宣伝して一般に周知させることによつて、売春を増す。精神的にも、肉体的にも、少しも人目をひかず、よそでは商売のできないような売春婦にもたしかな商売の場所を呈供することによつて売春行為を増す。
売春に関係あるところの酒商の取締りを容易にする。	営利的売春は酒なしでは繁盛しないから、非合法的な酒の販売取締りを面倒にする。
性的犯罪を防ぐ。	性的乱交をまし、性的残忍性と墮落を培うことによつて性的犯罪を促す。
一般社会を不快で且有害な売春婦の接近から守る。	売春を社会に必要である様に宣伝し、近づき易くし、黙認させ、社会の道德低下を助成する様な状態を作り出す。
売春に関係ある演職売春婦の搾取を減少させる。	組織的犯罪の黙認、すなわち警察官が不正な利得とひきかえに業者に不正な特権を与えるという事態がおきやすく、演職が増加する。売春婦の搾取をほしいまみにさせる。

特定区域をもうけることに對する賛否兩論

賛(売春業者の云い分)	否 (眞 相)
警察の監視を容易ならしめるから犯罪が減少する。	害悪と病気を培養し、怠け者や悪い者達のたまり場となり、売春婦は警察よりも彼らと手を結んで協力する。 こういうことによつて犯罪を増加させる。
男子の性慾を満足させることにより色情倒錯を防ぐ。	普通の行為に満足しない顧客をひきつけるための手段として、色情倒錯や変態行為を培養する
街路や住宅地から誘惑をとりのぞくことによつて青少年が売春婦に近づくのを防ぐ。	青少年はいつでも特定地区に近づいて、光景を見ることができるので、売春婦に接近するにまかせられる。特定地区は猥褻な頽廢したみせもののみせ場となり、青少年は客引きや淫猥な絵の売り込みによりそういうものに誘惑されやすい。
制度化によつて売春行為を減少さす。	売春婦に接する機会や要求をふやし、又それは供給、即ち売春婦をふやすことになり、そういうものによつて売春を増加する

子懼人少不

1952 年 11 月 1 日 印 刷

1952 年 11 月 5 日 発 行

東京都千代田区大手町1丁目7番地

編 集 筆
発 行 人

労働省婦人少年局

印 刷 人

永 井 直 保

印 刷 所

東京都中央区入船町 2 / 3



長野婦人少年室